

有岡城（伊丹城）（国史跡）（伊丹市伊丹 2 丁目）（史跡公園）

有岡城（ありおかじょう）は、伊丹城（いたみじょう）ともいう兵庫県伊丹市にある城。国の史跡に指定されている。

概要

南北朝時代、摂津国人の伊丹氏によって建築され、文明 4 年（1472 年）には改築され、それまでの伊丹城が日本最古の天守台を持つ平城となった。

しかし、天正 2 年 11 月 5 日（1574 年 11 月 18 日）、荒木村重によって攻め落とされ、のちに伊丹氏の伊丹城を大改修し、有岡城に改称した。

荒木村重は後に謀反を起こし、有岡城は織田信長に攻められて落城することになる。

大坂城や江戸城などにもあった惣構えの最古（2005 年現在）の遺構が発掘された。城の東側を流れる伊丹川との間は崖になっており、さらにその東側には駄六川と猪名川が流れており、これらの河川が天然の要害となっていた。

伊丹城・有岡城の略史

- ・ 南北朝時代：伊丹氏により築城。伊丹城と称する。
- ・ 天正 2 年（1574 年）：荒木村重が城を落として大改修。ついで、有岡城と改称。
- ・ 天正 7 年（1579 年）：村重謀反により織田軍に攻められ落城。
- ・ 天正 8 年（1580 年）：池田之助が城主になる。
- ・ 天正 11 年（1583 年）：之助が美濃に転封されることにより、廃城。
- ・ 明治 26 年（1891 年）：鉄道敷設の為、当城東側破壊。
- ・ 昭和 50 年（1975 年）：発掘調査開始。

その後史跡公園として整備され、現在に至る。

現在確認可能な残存遺構

石垣・土塁・井戸跡・堀跡・など。

その他

- ・ 黒田如水は当城内にあった牢内に幽閉されていた時期があった。
- ・ 信長に反旗を翻し城に籠もっていた城主の村重は、家宝の茶壺である兵庫壺を背負い、名鼓「立桐筒」を腰に結わえ、少数の家臣と共に尼崎城に移ったという。逃亡という説もあるが、その後有岡城が直ぐに落城しなかったところから、同盟を結んでいた毛利と連絡を図るためとの説がある。残された家臣は堅城を待みによく戦ったがついには内応により落城する。
- ・ 猪名野神社の紋章は村重を従えていた織田家の家紋（織田木瓜）である。
- ・ 城跡南東には「荒村寺」と言う村重の由来を感じさせる寺があり、伊丹城・有岡城で亡くなった人達の慰霊碑がある。
- ・ 城跡南西には「墨染寺」と言う寺があり、謀反後に処刑された荒木家由来の人々の墓がある。

Wikipedia による

